

まちづくりペタンク

ペタンク 親しまれるスポーツ

元々ペタンクは飲食しながら、おしゃべりしながら、近くの空き地で、老若男女手軽に一緒に楽しめる遊びとして広まっ



ていったようです。井上がペタンクを始めた頃（平成十四年）は大いに出ても会場はお祭りイベントのような雰囲気がありました。試合と試合の合間にビールを飲んだり、主催者が「豚汁」を無料でサービスしたりする光景もありました。身近な庶民のスポーツと



いう本質を大切にしながら「親しまれる・愛されるペタンク」を目指しましょう。「健康の維持増進と、明るく活力に溢れる地域づくり」は身近なところから始まります。ペタンクは地域づくりに貢献できる最適なスポーツです。有効な手段です。市内各所にペタンクサー



クルが活動し、みんなの笑顔が見える赤磐市を創っていきましよう。

ペタンク講習会①

七月十三日（土）あつたかハウスで講習会を開催しました。（写真はその時の様子）今回は主に「テイル（はじく）」の練習をみんなで行いました。普段の練習ではゲーム中にテイルをすることが少ないのですが、投げ方は「ポワンテ（寄せる）」と同じです。これからも自分の練習に今日の方法を取り入れてみてください。

ペタンク講習会② お知らせ

会員向けの講習会、次回は八月十七日（土）午後六時から八時三十分、山陽ふれあい公園多目的広場で行います。協会員の方は参加してください。講師は県ペタンク連盟審判部の方にお願ひいたします。会員向けですが、初心者の方もペタンク体験ができます。

どんぶらこ訪問 事業の今後

七月二十二日（月）に「赤磐市市民活動支援センターどんぶらこ」を訪ねて、私たちが進めている事業の課題について相談させてもらいました。広報活動について

- ★今のポスター・パンフレットでは若者にはピンとこない。「おじいちゃん達が頑張っているなあ。スポーツなんだろうなあ。」ぐらいの感じ。
- ★ターゲットを絞った広報が必要。今後の活動を支える30代・40代へペタンクを広げる必要がある。
- ★「誰でも手軽にできる高齢者のスポーツ」という概念をひっくり返すことも必要。「おしゃれ」「かつこいい」「テクニク半端ない」「戦略を駆使する頭脳戦だ」「ただのお遊びではないんだ」等を前面に出していく。
- ★目標を具体的に示すことも必要。例えば「ペ

タンク協会会員百人」
「市内に十のペタンクサークル」「赤磐市から日本チャンピオン」等

★SNSでの広報は若者向けに必須。ペタンクの魅力を伝えるDVD等を一本作成しておけばずっと使える。

★事業に対して寄付を呼びかけることは少ない。何かの行事や何かの購入・作成のために寄付をお願いするのが一般的。

★団体の年会費は三千元。入会すれば「どんぶらこ主催行事」に無料で参加できたり、他の加盟団体へ事業のお知らせがきたりする。

電話一本で突然なお願いをしたにもかかわらず、2時間近く親身に話をしてくださり、多くの示唆をいただきました。



ペタンク協会の情報はQRコードをご覧ください。



あかいわももちゃん